

■ガラスびんSDGs30万人ローラー作戦の活動状況について

日本ガラスびん協会

開催月 (配信月)	取組み内容	コメント	対応先
2021年6月	小学生向けフリーペーパー「エコチル」6月号の東京版広告にて、日本ガラスびん協会ホームページ（SDGsコーナー）のQRコードを掲載。参照の誘導をいたしました。	千代田区8校、中央区16校、台東区19校、墨田区24校、江東区45校、江戸川区69校に合計83,000部配布 ⇒興味を示す児童からのアクセスを期待する。	ガラスびん 3R促進協議会
2021年7月	曾野小学校(小3、3クラス、計78名)へ出前授業。3クラスに3Rプレゼン(SDGsロゴ含む)を3回実施(40分×3回)いたしました。	従来のプレゼン資料にSDGsロゴのページを追加して説明しました。「SDGsロゴを知っていますか」の問いに、「SDGsや地球温暖化は知っている」と元気に返ってくる。3Rよりは、SDGsの方が馴染みがあるようです。3R活動が温暖化防止になる理屈までは、想像が出来なかったようですが、「びんは使用後、さっと洗ってリサイクルする」ことで、SDGsにつながるかと知って、約束をしてくださいました。2週間後の学童からのお礼文に、何人かが、SDGs、3Rを書いても頂きました。 合計78名	石塚硝子株式会社
2021年8月	播磨町おもしろ教室：兵庫県加古郡播磨町の小学生を対象とした、ガラスびんの特性を通じた環境教育と工作	播磨町在住の小1～小6のお子様 16名、付き添いの親御様 13名の合計29名。ガラスびんの製造に関する説明、ガラスびんの3Rに関する説明し、ガラスびんがSDGsに貢献出来ることを伝えた。イベント中の飲み物をリターナブルびんで提供し、P函に返却すると5円チョコがもらえるという空きびん回収の実習も行った。ガラスびんを使った工作実習は風鈴を制作してもらった。	日本山村硝子株式会社
2021年9月	ガラス産業連合会環境技術部にて、日本ガラスびん協会のガラスびんSDGsの取組みを紹介。	持ち回りで行う委員情報の提供において、ガラスびんがSDGsに貢献している内容を項目毎に分類し、資料を基に説明を行った。⇒委員各位からまとりの良い内容がとでも理解しやすいとの評価を受ける。 加盟する会員会社より委員が参加、合計9名	日本山村硝子株式会社
2021年10月	古知野西小学校(小4、2クラス、計68名)へ出前授業。 五条川小学校(小3、2クラス、計70名)へ出前授業。 岩倉南小学校(小3、2クラス、計77名)へ出前授業。 愛知県主催のSDGs AICHI EXPO 2021(10/22～23)へ出展する丸の内中学校を支援。	古知野西小へ出前授業を行いました。4年生の社会科の学習テーマが、「ごみの行方」であったこともあり、既にSDGsや3Rについては勉強していました。当社からは、原料、カレットの触手体験、今昔の牛乳びん重さ体験、映像を用いた授業を行いました。62名のお礼文には、3Rやベンギン動画(リサイクル・アニメ)が印象的とありました。(他も含めて、合計215名) 愛知エキスポ2021とは、企業、学校、NPO、市町村によるSDGs推進フェアです。丸の内中学校では、生徒自身で栽培した花をドライフラワーにして、ハーバリウムづくりの実演ブースを開いていました。「12.つくる責任 つかう責任」を、花、びんの再利用で表現して、当社はパートナーシップとして、びん提供をしました。	石塚硝子株式会社
2021年11月	東京家政大学 造形表現学科の学生さん(19名)を対象に11月18日(木)「ガラスびんSDGsセミナー&ワークショップ」を開催。	日本ガラスびん協会のSDGs推進WGでかねてより検討していたガラスびんSDGsセミナーパッケージが完成して初のイベント開催となった。同大学の宮本准教授のご協力のもと、授業の一環として、前半はガラスびんSDGsセミナー、後半はガラスびんカレットを使って「カレットアート」を制作するワークショップとして開催した。このイベントの様子は、ガラスびんニュースにも掲載された。	日本ガラスびん協会
2021年11月	産業交流展2021で「素材産業が挑戦する 持続可能な社会実現への貢献」という題目で基調講演	ガラスびんの素材特性、3R特性を通じて利便性へのトレードオフを問いつける内容を盛り込む。環境問題対応に世界的変革が求められる中、過去の省エネ、低炭素取り組み実績から、脱炭素への可能性も示唆した。日本ガラスびん協会、ガラスびん3R促進協議会の取組みも紹介。当日現地聴講者は22名、動画配信による聴講者は29名。	日本山村硝子株式会社
2021年11月	ローカルケーブルテレビBaycom このまち夢いっぱい～未来のゆめ・まちプロジェクト	関西圏で社会貢献活動・SDGs 目標達成に向けた活動をされている団体や企業、行政の取り組みを紹介する番組。「ガラスびんが目指すSDGs」をテーマに日本山村硝子のSDGs 活動、社会貢献活動を紹介。 2021年12月16日～31日までの、月曜日 10:00～ / 火曜日 20:15～ / 水曜日 7:15～ 木曜日 21:00～ / 金曜日 10:00～ / 土曜日 16:00～ / 日曜日 21:00～ ケーブルテレビBaycomで放映 番組公式Youtube にて放送データをUP https://www.youtube.com/channel/UCerf21kxm8M3HEU8VLRfKrw Baycomの視聴者実数カウントは出来ない。番組公式Youtubeの済生会数は305回(1/11現在)	日本山村硝子株式会社
2021年12月	エコプロ2021への出展 12月8日～10日 於:東京ビッグサイト	2日間出展。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、呼び込み・クイズ・資料手交は中止した。3Rそれぞれに該当するSDGsアイコンを表示し、3密回避を配慮し、離れたところからも視認できるように展示デザイン・内容を工夫し、詳細内容はQRコードで見てもらえるようにした。	ガラスびん 3R促進協議会
2021年12月	京都大学 超SDGsコンソーシアム研究会(第2回) 12月10日 於:京都市SDGsラボ	15団体・企業参加のメンバーシップの研究会。第2回のテーマはLCA。「びんリユースシステムでつくる持続可能な未来」と題して講演。	ガラスびん 3R促進協議会
2022年1月	関西生産性本部「関西モノづくり大会」講演 1月27日 オンライン配信(Zoom)	「持続可能なモノづくりへの挑戦～現場力を活かしたDXとSCMへの展開～」をテーマとし、脱炭素社会や持続可能なモノづくりの実現に向けた課題解決の一助となることを目指して開催された。事例発表会にて、資源循環・廃棄物削減の仕組みづくりを率先し、省エネルギー・低炭素に積極的に取り組んできた実績をテーマに講演。 会場聴講者20名、WEB聴講者202名の計222名、参加会社数48社。	日本山村硝子株式会社
2022年1月	国際ガラス年2022 日本オープニングセレモニー・講演会」講演 1月28日 オンライン配信(Zoom)	ガラスの過去、現在、そして輝かしい未来を祝福する、国際ガラス年を記念して開催される国際ガラス年2022 日本オープニングセレモニー・講演会にて「ガラスびんSDGsの取組みについて」講演。パネラー含めて約500人が聴講。	日本ガラスびん協会
2022年2月	株式会社宣伝会議 未来の授業 SDGsダイバーシティBOOK	SDGsへの関心と本質的な理解を促す教材としてだけでなく、「ダイバーシティ」というテーマを通して日本の社会課題と関連づけた探究活動を促す教材。SDGsの達成に挑む企業に突撃インタビューの章で、25社が寄稿する中の1社として、ガラスびんのリユースシステムがSDGsに貢献できるシステムであることをまとめた。 全国の小中高校35,000校に配布される。	日本山村硝子株式会社
2022年3月	「びんの3R通信」の配布による広報	Vol.53 「ガラスびん3RとSDGsの関連性」特集号を当協議会の正会員・賛助会員、リサイクルクラブ、関係団体・NPO、学識者等に配布 配布先327ヶ所、1,675部。	ガラスびん 3R促進協議会